



千川中学校の建替え等を考える会ニュース

編集・発行：千川中学校の建替え等を考える会

中学校の建替えを考える勉強会を実施しました！

第3回目となる令和2年11月の考える会では、学校建替えの最前線を学ぶ勉強会を開催しました。講師には、学校改築の第一人者で、これまでも区内の学校改築にあたり計画段階から様々なご指導をいただいた、東洋大学の長澤悟名誉教授にお越しいただきました。

講演の中では、技術や学び方など変わっていく教育の現状や、地域等との関わりを含めた学校施設のあり方を踏まえ、地域が取り組む学校の建替えにおいて、意見を共有していくことの大切さを説明いただきました。



ながさわ さとる
長澤 悟
名誉教授

東洋大学名誉教授 工学博士
教育環境研究所理事長
国立教育政策研究所客員研究員
東京大学工学部建築学科卒業、同大学院博士課程修了

専門は建築計画学。学校建築を中心に研究すると同時に、教職員・住民と話し合いを重ねる学校づくりに、これまで全国で400校ほど携わり、豊島区では、目白小学校、池袋本町小学校・池袋中学校、巣鴨北中学校等の計画に関わる。

【共有する視点】

- 子供観** 未来社会に生きる子供の姿を描く
- 教育観** 教育を問い直し、目標を共有する
- 学校観** 地域のみならず、地域にとっての学校を考える
- 施設像** 固定観念にとらわれずに意見を出し合う



【学校づくりは3つの「ら」から】

- たから** 大事にしたいもの・こと
教育目標、歴史・文化、場所・もの
- あら** 直したいもの・こと
現状の問題点
- みらい** 新たな課題
社会の大きな変化に対して、
ポスト・コロナ時代の学校

最新学校の紹介～豊島区立巣鴨北中学校 令和元年6月竣工～

— 外観 —



— 普通教室 —



— プール —



勉強会ポイント1：変わっていく教育の現状

【教育の変化】

アクティブ・ラーニング

- ・未知の状況にも対応できる“思考力・判断力・表現力等”
- ・学びを人生や社会に活かそうとする“学びに向かう力・人間性”

コミュニティ・スクール

- ・学校が地域を支え、地域が学校を支える
- ・教育・地域づくりの目標を、学校と地域が共有し、連携して実現する

チームとしての学校

- ・教職員の力+地域の力+外部の力
- ・学校と地域の共同 地域ぐるみの教育

【社会の変化】

ICT、AI、IoT、ロボット - Society 5.0

グローバル化

インクルーシブな共生社会

持続可能な社会づくり 脱炭素、SDGs

ポスト・コロナ

さらにその先を見つめて・・・

1. 多様な学習形態・教育方法に対応する教育空間

主体的学習に導く環境構成
対話的学習を自由に展開できる場
ICT化

2. インクルーシブな学校

特別支援学級 合理的配慮
基礎的環境整備—バリアフリー、UD、トイレ

3. 小中一貫教育・義務教育学校

9年間を見通した教育
交流・成長を感じられる節目
地域ぐるみの教育

4. 豊かな生活環境

居心地よい空間 食事・トイレ・着替え
交流・居場所 遊び・運動の場

5. 学校と地域の連携

地域の核となる学校 地域が支える学校
複合化 防犯セキュリティ

6. 災害に強い学校

安全・安心
地域の防災拠点 避難所機能の向上

7. 地球環境に優しいエコスクール

ゼロエネルギー・スクール 木材の活用
環境教育の教材 SDGs

勉強会ポイント2：学校施設を考え直す

1. 教室から“教室まわり”へ

自由度の高い教室まわり、多様なグループ・発表、ICT環境、オンライン教育

2. 黒板・チョークから ICT 教育環境へ

一人1台の端末、高速大容量ネットワーク
→ オンライン教育、ネットワーク型学校

3. 図書館からラーニング・コモンズへ

メディアセンター、対話的学習、表現・発表、交流

4. 特別教室からワークショップへ

自ら発見する驚きのあるサイエンス、自由に表現する喜びのあるアート

5. 職員室からティーチャーズ・コモンへ

リフレッシュ、情報交換、作業、打ち合わせ、教材製作の場となる共有スペース

6. 通路・階段からコモン・スペースへ

居場所、交流空間、心地よい空間

7. 学校を地域みんなの場へ

学校地域交流センター、複合施設、セキュリティ

巣鴨北中学校の写真

例：学習情報センター（図書室）



例：アクティブスペース（交流空間）



アンケート調査のご報告

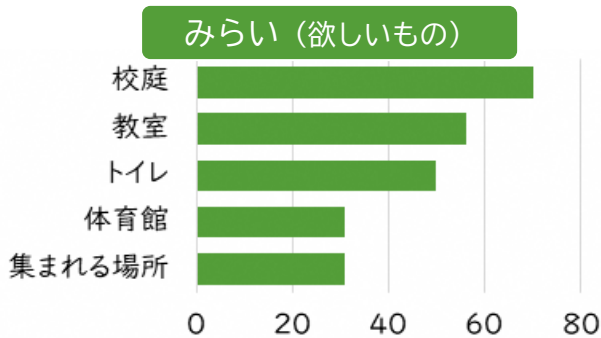
中学校に関わる様々な方を対象にアンケート調査を実施しました。質問では、**学校づくりの3つの「ら」**を踏まえ、**たから**（大事にしたいもの・こと）、**あら**（直したいもの・こと）、**みらい**のことを聞いています。

実施期間 令和2年11月末～12月25日

配布方法 直接配布

配布数・回答率全体 512/886件（58%）

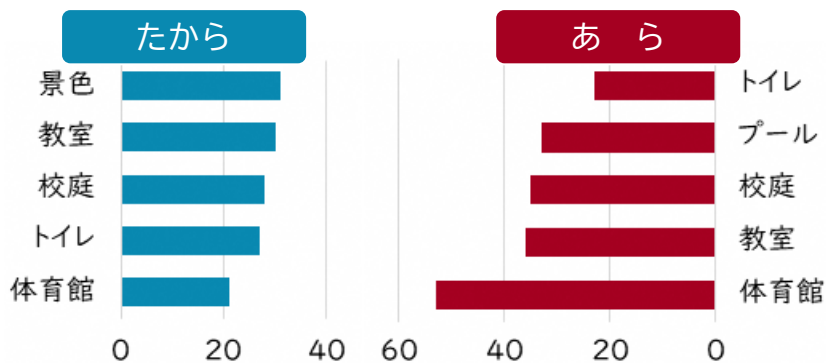
◆児童（高松小・要小5～6年生）：回答200件



- 「広い校庭」「広い体育館」「広い教室」等、広い中学校への期待や、「きれいなトイレ」「きれいな教室」等の意見があげられています。
- また、新しい機能として、「集まってしゃべる場所」等の友達と過ごせる場所や、静かな部屋も欲しいという声がありました。

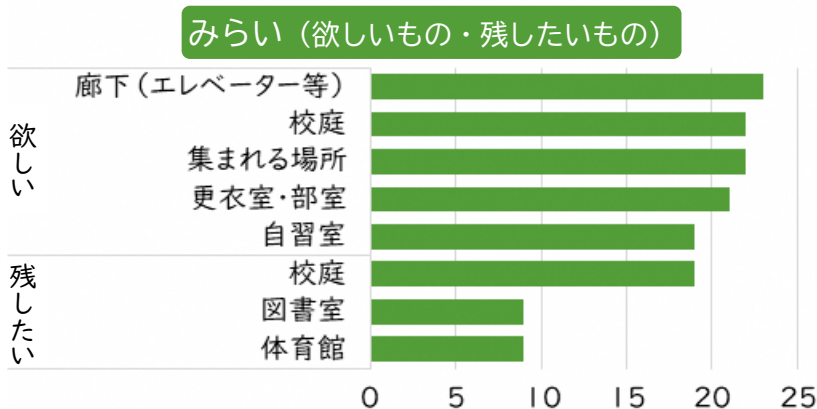
※主な意見のみ掲載（以降、同様）

◆生徒（千川中学校1～3年生）：回答196件



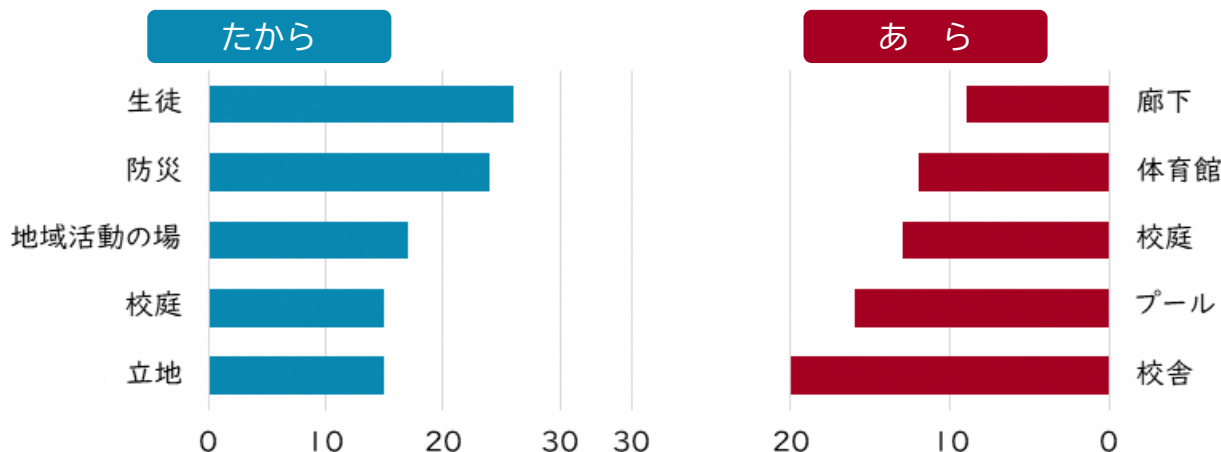
- “たから”は「景色」「教室」「校庭」等であり、とくに美術室や図書室からの「眺めの良さ」や「トイレがきれい」なことがあげられています。

- “あら”では「体育館」「教室」「校庭」「プール」等があり、体育館や校庭等、運動する場所が「狭い」ことがあげられています。また、教室の空調や黒板、ロッカー等の改善を求める声もあがっています。

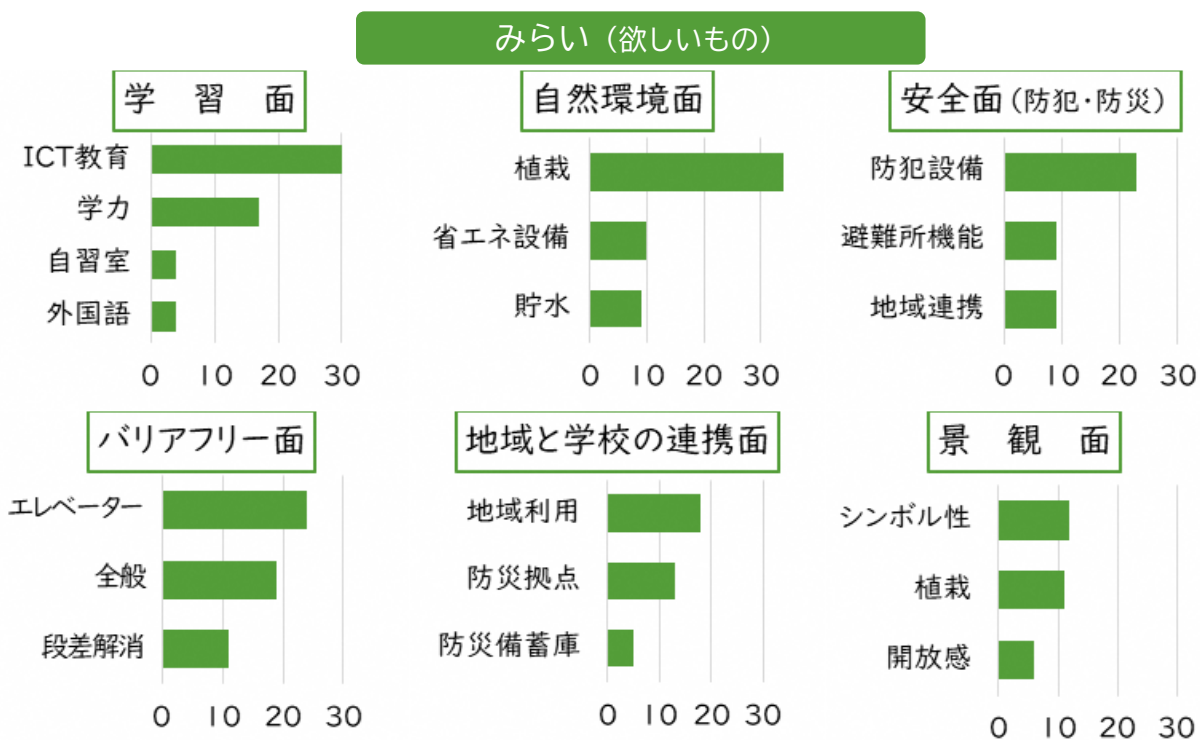


- “みらい”では、「廊下（とくにエレベーター）」「広い校庭」「集まれる場所」「部室」「自習室」が欲しいとの意見や、校庭の「樹木」を残したいという意見が多数見られました。

◆大人（保護者、PTA、地域、教職員）：回答 116 件



- “たから”は「生徒」「防災」「地域活動の場」等であり、生徒のあいさつ、防災活動、盆踊りといった地域交流が盛んに行われている良さがあげられています。
- “あら”では、「校舎」「校庭」「プール」があり、校舎と門の位置、離れているプール等が問題としてあげられました。



- “みらい”は、学習面に関するご意見が最も多く、「ICT教育」「学力」など、新しい学習環境が期待されています。
- 複数面からあげられた意見として、「植栽」は自然環境面と景観面の両方からあげられました。さらに、防災機能に関する意見は、安全面「避難所機能」と地域と学校の連携面「防災拠点」「防災備蓄倉庫」の両方からあげられました。また、様々な施設の併用への意見も多数見られました。

●千川中学校の建替え等を考える会のお問合せは…

豊島区教育委員会事務局 教育部 学校施設課までご連絡ください。

電話：4566-2789 / ファックス：3980-7200 / メール：A0029257@city.toshima.lg.jp